

担当：阿部小涼（あべこすず）
 法文研究棟 331 室
 課題提出：kosuzu@eve.u-ryukyu.ac.jp

問題は、たんに権威に反対する個人ではない。むしろ問題は、重大事態に際して、国家への「不服従」を公然と率先して行うことによって、市民権をつくり直すような市民である。
 この反抗要求を解放しなければならない。-----E・バリバール

[講義内容]

「社会運動から見る国際関係」

主として米国を舞台として起こったいくつかの社会運動の事例を採り上げて、歴史的な変遷を意識しつつ、その国際的視野、運動の広がり方、新しいスタイルと過去の継承などを検討する。講義内容を理解した上で、現在の自分の周辺で行われている社会運動について関心を広げ、国際的広がりという観点から調査し批評出来るようになることが、講義の到達目標である。

[評価について]

1) 講義の中で提出を指示するリアクションペーパー（4回×10%=40%）

- (1) 5月9日提出 メーデー潜入レポ <労働>
- (2) 5月30日提出 コミュニティNPO 探訪 <コモンズ>
- (3) 6月20日提出 路上グラフィティ観察レポ <スペクタクル>
- (4) 7月11日提出 G8で何が起きたか <オルター・グローバリズム>

-形式は基本的には自由とします。

-観察か、参加か、はたまた参与観察なのか。いずれにしても「現場」に居合わせることを重視します。

-分量はA4用紙で1枚程度までを目安とします。シンプルなものでもよいという意味で。

-映像・画像資料添付などヴィジュアル的工夫は歓迎されます。

2) 期末レポート（60%）

①「新しい社会運動」の事例をひとつ採り上げ、②具体的に紹介し、③そのスタイル・理念・歴史的継承について分析しなさい。

-2000字以上。

-映像・画像資料の添付は大いに歓迎されます（字数に含まず）。

-レポートの形式（出典の明記、脚注、文章の洗練など）を重視します。

-剽窃・盗作が認められたらあ、不合格とします。

3) あわせて70%以上からを合格とし、評価します。

[講義日程]

4月18日(1)	イントロダクション	
4月25日(2)	自由と生存！イマドキの労働運動	
5月2日(3)	「書を捨てよ街へ出よう」メーデー観察実習	
5月9日(4)	ストリートを取り戻せ From ACT UP!	※リアクションペーパー（1）提出
5月16日(5)	アヴァン・ガーデニングバス乗客ユニオン	
5月23日(..)	体育祭のため休講	
5月30日(6)	スペクタクルに抗する落書き	※リアクションペーパー（2）提出
6月6日(7)	カルチャージャミング	
6月13日(8)	フード・ノット・ボムズ	
6月20日(9)	ブランドなんかいらない	※リアクションペーパー（3）提出
6月27日(10)	シアトルで何が起きたのか？	
7月4日(11)	ストーミング・ザ・ミレニアム	
7月11日(12)	基地を解体する	※リアクションペーパー（4）提出
7月18日(13)	コピーレフト！：レポートの書き方解説	
7月25日(14)	ライブラリ・レファレンスデスク	
8月1日(15)	レポート提出日	(成績提出締切後、研究室ドア下で返却)

■4月18日

(1) イントロダクション

シラバス配付／評価方法について／参考文献の紹介／スケジュールの説明／登録調整
新しい社会運動とはなにか=この人たちはいったい何をやっているのか？

「社会運動とは、①複数の人びとが集合的に、②社会のある側面を変革するために、③組織的に取り組み、その結果④敵手・競合者と多様な社会的な相互作用を展開する非制度的な手段をも用いる行為である。」
大畑ほか『社会運動の社会学』p.4.

「現在、世界各地で巨大な集団的抗議行動が起こっている。これに対し、ジャーナリズムは『反（アンチ）グローバリゼーション運動』というレッテルを貼りがちである。しかし、参加している当事者たちは、自分たちの集まりを、『社会運動』『市民運動』あるいは『グローバル・ジャスティス運動』だと位置づけている。ジャーナリズムが、このムーブメントを簡略に呼ぼうとするときには、参加者たちは、不正確で侮辱的ですからある『反（アンチ）』より好ましい、『別の（オルター）』とか『対抗的（カウンター）』を冠したグローバリゼーション運動と呼ばれることを認めるだろう。」
スーザン・ジョージ『オルター・グローバリゼーション宣言』p.11.

[映像資料]

I.N.B. -History 1999-2006 illcommonz

<http://www.youtube.com/watch?v=OBABeVtB7ek&feature=related>

CLOWN ARMY TALKS ABOUT BLACK BLOC (w/Japanese subtitle)

<http://www.youtube.com/watch?v=7tM8jM5vPDg>

<労働>

■4月25日

(2) 自由と生存！イマドキの労働運動

ジャスティス・フォー・ジャーナター／移民のメーデー

自由と生存のメーデー2008／インディーズ系メーデー！？／フリーター全般労組／ガソリンスタンド占拠／素人の乱と高円寺北中通り／fuf「われわれは社会のニョッキである」／生存権／ベーシック・インカム／

[映像資料（予定）]

「市民的不服従：ロサンゼルス、ホテル労働者の闘い」

（制作・著作 ビデオ塾 2005/12分）

Justice for Janitors actions (1990 through 2006)

<http://www.youtube.com/watch?v=WKfQgUn7UNg>

May Day 07 Immigrant Rights March Chicago

http://www.youtube.com/watch?v=5_eiSXYDXlk

ECD×素人の乱("3"56) (素人の乱の予告編)

<http://www.youtube.com/watch?v=U-5BYb9wAWo>

ECD"言うこと聞くよな奴らじゃないぞ"@高円寺駅前 2007.4.15 (素人の乱でのECDレイヴ)

<http://www.youtube.com/watch?v=8RtNZXBk8cs>

自由と生存のメーデー07～サウンドデモ videopress

<http://www.youtube.com/watch?v=ebbEXIWBjXA>

■5月2日

(3) 「書を捨てよ街へ出よう」メーデー観察実習

※GW期間を利用して旅行に出る人、沖縄に残る人、それぞれのやり方で、各地で起こっているメーデーを観察して来ること。教室に集まる必要はありません=集まってははいけません。観察の成果は次週のリアクションペーパーで報告してください。

<コモンズ>

■5月9日 ※リアクションペーパー (1) 提出日：メーデー体験レポート
_(4) ストリートを取り戻せ
ACT UP! / RTS / 刑務所産業に抗する / 音の力 / 占拠する / 座り込む / アウトノミア /

■5月16日
_(5) アヴァン・ガーデニング
あたいぐわーする抵抗 / バス乗客ユニオン / 抵抗運動としての映画上映会 / コミュニティを目指す運動

<スペクタクル>

■5月30日 ※リアクションペーパー (2) 提出日：コミュニティ NPO 探訪
_(6) スペクタクルに抗する落書き
ゲーシュツによる抵抗 / グラフィティの歴史 / 落書きして逮捕! / 246 プロジェクト / ワンダーウォールキャンペーン /

■6月6日
_(7) カルチャー・ジャマーの反乱
アドバスターズ / 無買デー / ショッピング礼拝 / ウィールマート / 公告を書き換える / 3人デモ

■6月13日
_(8) フード・ノット・ボムズ
炊き出ししたら逮捕! / 抵抗食の会 / DIY / ジンの世界 /

<オルター・グローバリズム>

■6月20日 ※リアクションペーパー提出日：路上グラフィティ観察レポート
_(9) ブランドなんかいらない
グローバル資本への抵抗 / ナオミ・クラインの主張 / 大学ブランド T シャツとスウェットショップ / ジョゼ・ボヴェのマクドナルド解体

■6月27日
_(10) シアトルで何が起きたのか?
WTO、IMF、G8、グローバリゼーションへの反抗

■7月4日
_(11) ストーミング・ザ・ミレニアム
フランス学生暴動 / フリーチベット /

■7月11日 ※リアクションペーパー提出：G8 で何が起こったか
_(12) 基地を解体する
パイン・ギャップ・フォー / 戦闘機を解体する母たち / ビエケス島射爆場撤去 / 安波・安田の基地建設阻止

<レポート作成のために>

■7月18日
_(13) コピーライト? コピーレフト?: レポートの書き方
ローレンス・レッシング / コピーレフト / クリエイティヴ・コモンズ / 期末レポートの書き方講習

■7月25日 ※図書館 1 階オープンサテライトに集合
_(14) ライブラリ・レファレンスデスク
レポートのテーマ、題材、キーワード、すでに収集済みの文献資料を持ち寄り、仕上げに必要な情報を図書館から収集する実習。

■8月1日
_(15) レポート提出日
1日の深夜 24:00 までに e-mail 提出して終了!

[たとえばこんな参考文献]

大畑・成・道場・樋口編『社会運動の社会学』有斐閣選書 2004年。

ナオミ・クライン著、松島聖子訳『貧困と不正を生む資本主義を潰せ：企業によるグローバル化の悪を糾弾する人々の記録』はまの出版 2003年。

ナオミ・クライン著、松島聖子訳『ブランドなんかいらぬ：搾取で巨大化する大企業の非情』はまの出版 2001年。

デイヴィッド・グレーバー著、高祖岩三郎訳『アナキスト人類学のための断章』以文社 2006年。

ロビン・D・G・ケリー著『ゲッターを捏造する：アメリカにおける都市危機の表象』彩流社 2007年。

高祖岩三郎『ニューヨーク烈伝：闘う世界民衆の都市空間』青土社 2006年。

高祖岩三郎『流体都市を構築せよ！：世界民衆都市ニューヨークの形成』青土社 2007年。

国際労働研究センター編著『社会運動ユニオンイズム：アメリカの新しい労働運動』緑風出版 2005年。

スーザン・ジョージ著、杉村昌昭・真田満訳『オルター・グローバリゼーション宣言』作品社 2004年。

陣野俊史『フランス暴動：移民法とラップ・フランセ』河出書房 2006年。

曾良中・長谷川・町村・樋口編『社会運動という公共空間：理論と方法のフロンティア』成文堂 2004年。

エティエンヌ・バリバル著、松葉祥一訳『市民権の哲学：民主主義における文化と政治』青土社 2000年。

グレゴリー・マンツィオス編、戸塚秀夫監訳『新世紀の労働運動：アメリカの実験』緑風出版 2001年。

DeMusik Inter.編『音の力：<ストリート>占拠編』インパクト出版会 2005年。

カレ・ラースン『さよなら、消費社会：カルチャー・ジャマーの挑戦』大月書店 2006年。

『VOL01』；『VOL02』以文社 2006-07年。